

熊谷市事務事業評価外部評価結果一覧

班別	8月7日(火)、第一日目					8月9日(木)、10日(金) 第二日目				
	番号	事業名	担当課	評価結果	コメント	番号	事業名	担当課	評価結果	コメント
A班	A-1	ごみ減量対策事業(生ごみ処理容器等購入費補助)	廃棄物対策課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■生ごみ以外の減量化についてもっと多様な取組があると思われるため、他の自治体で展開している施策について検証すること。 ■プラスチックトレーの再資源化についても十分検討すること。 ■ごみ袋の有料化を真剣に考える時期に来ている。 	A-7	国保組合補助事業	保険年金課	縮小	<ul style="list-style-type: none"> ■公平性の観点から、将来的に廃止する方向で検討すること。 ■それぞれの国保組合の財政基盤を正確に把握し、自主財源の強化を求めること。
	A-2	高度情報化推進事業(ITアドバイザー支援業務委託)	情報政策課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■予算規模等からコンサルに精査を依頼する基準を設定すること。 ■組織的に専門的知識の育成を図る研修を実施し職員的能力を活用すること。 ■スポット的に契約し精査するなど、精査の仕方を工夫すること。 	A-8	障害者就労支援事業(喫茶室「たんぽぽ」運営費補助事業)	障害福祉課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■障害者の就労支援は重要であるが、健常者の人件費割合が高いという点は本来の制度趣旨から合理的ではないため、ほかの代替制度の検討をすること。
	A-3	航空写真作成事業	資産税課	継続 (当面は3年に一度の実施)	<ul style="list-style-type: none"> ■航空写真のデータは広く利活用を図るべきである。 ■家屋データがデジタル化されて様々な活用が現実味を帯びた時点で毎年の撮影といった提案を検討すべきであり、現時点では時期尚早である。 	A-9	登校支援推進事業	教育研究所	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■社会的ニーズは大きく、さくら教室の利用者の増加やボランティアや協力者の活用など、機能強化に向けた拡大方策の検討をすること。
	A-4	納税コールセンター運営事業	納税課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■慣れによる督促効果の低減など現状の課題を踏まえ、具体的な方策について検討を進めること。 ■納期限経過後のコンビニ納付の効果について検証すること。 	A-10	景観形成事業	都市計画課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■慣れ親しんだ景観に新鮮な発見をもたらす取組も必要である。 ■美しくなるのを待つのではなく、景観を損ねる行為を出来るだけなくしていくとの視点を多くの市民が抱くなど景観に対する意識啓発に努めること。 ■成果指標について効果を正確に把握できるよう見直す必要がある。
	A-5	介護保険特別対策事業(介護保険居宅サービス利用者負担軽減事業)	長寿いきがい課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■趣旨やねらいにおける必要性は認められるため、実施効果からみた事務処理の簡素化について工夫を図ること。 ■現在の仕組み以外の実質的な支援策をデザインすること。 	A-11	防災行政無線維持管理経費	危機管理室	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■5ヵ年計画などでデジタル化に向けた機器更新を図るためのプランニングに着手すること。
	A-6	交通災害共済事業	安心安全課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■民間保険に加入していない高齢者の方をカバーしている点にこの制度の意義がある。 ■広報手段の工夫を図ること。 ■自治会以外の加入ルートの発掘を検討し、加入率を増やすこと。 	A-12	消防水利整備事業	警防課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■事業の必要性は十分に認められるため、他課所管の航空写真の活用を図り、箇所ごとの優先順位をつけて整備を進めること。
B班	B-1	総合交通体系整備促進事業	企画課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■市民ニーズに対応し、採算性を優先して行うこと。 ■インセンティブ契約はさらに改善できる余地があるため検討すること。 ■観光地と市街地を巡回する料金体系の差別化を検討すること。 ■70歳以上の高齢者の無料化を検討すること。 	B-7	畜犬登録等実施事業	環境衛生課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■登録制度の周知に努め、獣医師会との連携を強化すること。 ■狂犬病予防注射の接種方法について個別接種の可能性を検討すること。
	B-2	男女共同参画推進事業	男女共同参画室	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■成果指標について、明確かつ具体的な指標を検討すること。 ■人件費の割合を見直し、印刷コストの削減に努めること。 ■対象世代を絞り込み、意識変革を促すこと。 	B-8	害鳥駆除事業	農業振興課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■被害金額、分布図、写真など判断の根拠資料が不足しているため、実態調査を行うこと。 ■関連部署との連携を図り、予算投入も検討し、効果的な実施に努めること。
	B-3	民生児童委員活動推進事業	福祉課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■民生児童委員の活動枠の広がりから、横断的な連携をより一層進めること。 ■活動のサポート体制を強化すること。 	B-9	公園サポーター制度推進事業	公園緑地課	改善	<ul style="list-style-type: none"> ■多層的に様々な組織を活用し、団体のイベントと併せて管理することにより愛着も増す活動になる。 ■完全な対価とならないまでも報酬額の見直しが必要である。 ■公園を利用した人が公園をきれいにする意識を持つことが重要である。
	B-4	特別保育事業(広域的保育所利用事業)	保育課	中止・廃止の検討を要する	<ul style="list-style-type: none"> ■行政の継続性の観点から、直ちにサービスを打ち切るとは支障があるため、ファミリーサポートセンターやシルバー人材センター等による代替策の検討を進めること。 	B-10	流域貯留浸透事業	河川課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■今後も維持管理を行っていくということで継続事業とする。 ■事業名称(流域貯留浸透事業)について、現在は維持管理のみの事業内容になっているので検討を要する。
	B-5	星川あおぞら市事業	商業観光課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■集客の対象者に商品を絞込み実施すること。 ■知的好奇心を抱くような文化的要素を入れ込んでイベントを展開すること。 ■新しい力を結集して、事業展開に変化をもたせること。 	B-11	地域住宅推進事業	営繕課	意見集約を評価に代える	<ul style="list-style-type: none"> ■建替費用よりも安価な住宅改修により市営住宅の長寿命化を図る方針のもとで事業が進められているが、災害発生時にも利活用の可能となる大事なストックでもあり、市営住宅の本来的な役割について議論するためには市営住宅運営上の全ての資料がないと評価できない。
	B-6	企業誘致推進事業	産業振興課	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■経済波及効果だけでなく環境生活波及の考えからは、将来的に定住したい企業を集めることで街に特色が出てくるため、熊谷市の将来ビジョンに適応した企業を誘致することが重要。 ■対象を選定して企業訪問をすること。 	B-12	子ども教室開設事業	熊谷図書館	継続	<ul style="list-style-type: none"> ■後継者の育成を図ること。 ■教室の内容に多様性を持たせること。